

児童養護施設守山学園改築の建設協賛募金のお願いに関する趣意書

～新たな社会的養護への挑戦・子どもの未来のために～

謹啓 皆様におかれましては、ますますのご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃、当法人の事業に対して、ご支援・ご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当法人が経営しております児童養護施設「守山学園」は、平成2年2月に新築移転して29年が経過し、施設の耐震性の課題や老朽化が進む一方、建物構造は、現在の複雑な社会環境のもとで育ってきた子どもの実態及び養護・療育等に合わなくなってきているのが現状で、子どもの命を守り健康を育むための新しい養護施設の建設が急務となっています。

そのため、平成30年10月11日のひかり会理事会において、「新しい社会的養育ビジョン」の方向に沿って地域小規模児童養護施設等の整備を進めながら、新たな養護施設を必要とする子どもと家族の願いに応え、3年後の完成をめざして、法人敷地内で改築を計画するとともに、不足する建設資金の確保に向けて、施設建設協賛募金をおこなうことを提案し、決議させていただいたところです。

昭和34年10月創立以来60年、社会的養護や療育を必要とする子どものため、その時々々の社会の変化に応じて組織を改善し、内容を充実させ、真に『子どもの命を守り未来に輝ける人を育む』という一心で児童福祉活動をおこなってきました。

家庭が在りながら家庭で暮らせない子どもを救うため、私達は「同朋精神」というひかり会理念のもとで、「より良い家庭的環境」を思い描き、大人が寄り添い子どもが安心して暮らせる社会的養護の理想郷を目指していきたくと思います。

結びに、役職員と関係者が一体となり、これまでの施設経営の英知を結集して、新たな「児童養護施設」の運営に取り組んでいく所存でございます。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、協賛募金の趣旨をご理解いただきまして、新園舎に必要な建設資金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

謹言

令和 元年10月

皆 様

社会福祉法人 ひかり会
理事長 高田 善明
児童養護施設 守山学園
園長 谷村 太